

3/13

## きれいな花が咲くように

あじさい園、ボランティアの皆さんが植樹

6月には市内外から多くの人を訪れる天拝公園のあじさい園。この日、約30人のボランティアの皆さんが集まり、100本の苗を新たに植えました。

中心となって園の整備を行う筑紫野経済同友会の吉村会長は「コロナ禍でできることは少ないですが、あじさい園にはたくさんの思いが込められています。今年も多くの人に楽しんでもらえたら」と話していました。



協力して手入れをするボランティアの皆さん

3/9

## 「共に生きるまちづくり」を自指して

障がい者による手作り商品の展示・販売

「ちくしの福祉村」では、障がいのある人への理解を広め、社会参加と自立を支援するために活動しています。

3月から当面の間、市役所2階西側エレベーター前で毎週火曜日11時30分～13時に、「福祉グループどろっぶす」と「手作り工房紫陽花」の手作りの商品を展示・販売しています。ぜひお立ち寄りください。



3/15

## 結果は「中の下」協力して感染予防を

筑紫神社「粥占祭」

2月15日に炊いた粥を神殿に奉納し、1カ月後、カビの生え具合で吉凶を占う「粥占祭」。今年は流行病を示す赤いカビが多く、あるとよいと言われる黄色いカビが少ないため、総合判断は昨年より一つ下の「中の下」になりました。

宮司や判断員の皆さんは「感染予防をしっかりと、ということかもしれません」と話していました。



カビの生え具合で吉凶を占う判断員の皆さん

3/11

## 被災地に思いをはせる

東日本大震災筑紫野市追悼式・復興祈念式

東日本大震災の発生から10年を迎えたこの日、筑紫野市追悼式・復興祈念式を市役所前ふれあい広場で挙行し、コミュニティ運営協議会、消防団、市議会、市職員（災害支援派遣職員）、消防組合職員が参列しました。

弔旗を掲げ、震災発生時刻の14時46分にはサイレン吹鳴とともに黙とうを行い、犠牲者のご冥福を祈るとともに被災地の復興を願いました。



黙とうを捧げる参列者